

豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 (役職名)
2024年 11月29日(金)	市長公室 DX・行財政改革推進課	0796-21-9146 (内線 2041)	若森洋崇 (課長)

(件名)

第2回「地域の新しい移動のしくみ」豊岡ミーティングの開催

(内容)

豊岡スマートコミュニティ推進機構(豊岡市と但馬信用金庫が共同で運営する団体)が支援を行っている一般社団法人新しいひろばが、豊岡福祉モビリティの実証実験の経過報告と合わせて、ユニバーサルツーリズムなど「すべての人が移動しやすい街づくり」について考えるシンポジウムを開催します。

記

1 日時 12月20日(金)午後2時～4時30分(開場 午後1時30分)

2 場所 豊岡稽古堂3階(中央町2-4)

3 内容

- (1) 登壇者による取り組み紹介(午後2時～3時)
- (2) クロストーク(午後3時10分～4時10分)
- (3) 質疑応答、フリーディスカッション(午後4時10分～4時30分)

4 参加申込 事前申込が必要(12月19日(木)午後11時59分締切)
<https://atarashiihiroba1220.peatix.com>

5 主催 一般社団法人新しいひろば

6 参考

第1回「地域の新しい移動の仕組み」豊岡ミーティングの実施結果

- (1) 開催日 2024年2月13日(火)
- (2) 会場 江原河畔劇場
- (3) 参加者 114人(民間事業者、行政関係者など)
- (4) 内容

福祉と交通を掛け合わせた新たな移動の仕組みづくりについて、群馬県前橋市、富山県黒部市から招かれた登壇者により先進事例の報告が行われました。また豊岡福祉モビリティ事業の成果報告(令和5年度)や、登壇者と地域の交通に関心の高い地元住民が参加するパネルディスカッションを実施しました。

当日の詳しい様子は以下のURLをご覧ください

豊岡スマートコミュニティ推進機構公式ホームページ(イベント実施報告)

URL: <https://x.gd/9mtTq>

- (5) 問合せ 一般社団法人新しいひろば(担当: 渡辺) TEL: 080-3931-1891

《問合せ》DX・行財政改革推進課(担当: 小谷)

TEL0796-21-9146

※本事業に対する問い合わせは、一般社団法人新しいひろばへお願いします。

第2回

地域の

新しい

移動の

楽しみ

豊岡三ライオンズ

福祉×観光×交通

2024年12月20日(金) 14:00~16:30

豊岡稽古堂3階 豊岡市 中央町2-4

「地域の新しい移動のしくみ」豊岡ミーティング

みなさんは普段、どのように移動していますか？

自家用車、バス、タクシー、電車、自転車…移動手段はさまざまですが、豊岡では自家用車が生活の中心を占めているのが現状です。その一方で、公共交通の維持や高齢者の免許返納など、移動に関わる多くの課題が山積しています。

私たちは、地域の移動課題解決に向けて、これまで豊岡スマートコミュニティ推進機構(TSC)の取り組みの一環として、福祉と交通を掛け合わせた新しい移動のしくみ「ちょいのり」の実証実験を行ってきました。こうした移動課題に取り組む活動は全国で広がり、各地で新たなアクションが次々と生まれています。

今回は、2024年2月の第1回に続き、ユニバーサルツーリズムやサステナブルツーリズムに取り組む実践者と専門家を迎え、各事例を紹介しながら「すべての人が移動しやすい街づくり」について考えます。豊岡ならではの文化観光資源を生かし、福祉や教育などの分野と連携しながら、地域の潜在的な価値を引き出す可能性を探ります。

人口減少が進む今だからこそ、地域のリソースを掛け合わせ、新たな移動の仕組みを共に創り上げていきませんか。子どもや高齢者、障害の有無にかかわらず、誰もが自由に移動できる街を目指した発信の場です。ぜひご参加ください！

ちょいのり

豊岡市で実証実験している、デイサービス送迎車の空席を利用者の通所日以外のお出かけ需要とマッチングする取り組みのこと。

ユニバーサルツーリズム

「すべての人が楽しめるよう創られた旅行であり、高齢や障害等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行」のこと。(観光庁による定義)

サステナブルツーリズム

訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光。(国連世界観光機関による定義)

2024年12月20日(金)
14:00~16:30 受付・開場 13:30

豊岡稽古堂3階
(豊岡市中央町2-4)

参加費無料(要申込)

14:00~15:00 登壇者による取り組み紹介
15:10~16:10 クロストーク
16:10~16:30 質疑応答

※豊岡市役所北側駐車場をご利用の方は、受付で無料駐車券をお渡しします。

ご来場の際には事前申込が必要となります。

<https://atarashiihiroba1220.peatix.com>

※12月19日(木)23:59 締切

※申込は先着順となり、定員に達し次第締め切りとなります。あらかじめご了承ください。



定員80名



当日会場では、森の薬草店 iroca (日高町荒川) によるオリジナルハーブティのテイスティングサービスがございます。

登壇者



飯田 勇太郎 氏 志ん屋 代表 / 合同会社百景 代表

神鍋高原の民宿「志ん屋」の四代目。高校まで豊岡市で過ごし、大学進学とともに神戸へ。大学卒業後、神鍋高原にUターン。その後、旅行会社に就職し、30歳を機に家業の民宿に就き、36歳で事業継承。気候変動による神鍋高原の雪不足に危機感を覚え、2022年に日高神鍋観光協会内でサステナブルツーリズム委員会を発足。委員長を務める。2024年には「合同会社百景」を設立し、旅行事業として「好日観光研究所」を立ち上げる。趣味は音楽鑑賞。



佐々木 康之 氏 Climate Integrate コミュニケーション・マネジャー

バンド「bonobos」でデビューし全国ツアーや大型フェスに出演、多数の音源を発表。脱退後はプロデューサーやCM音楽制作、ツアーサポートなど音楽家として活動開始。同時に社会活動へ積極的に参加し、NPOいけだエコスタッフでは食とエネルギーの地域内循環をテーマにプラントベースレストラン「3RキッチンVegan」の立ち上げや、小水力発電などに取り組む。草の根運動を大切にしつつ、それだけでは変わらない世の中の仕組みに提言できる場を求め、2022年春よりClimate Integrateに参加し、地域の脱炭素化支援とコミュニケーション全般のアートディレクションを担当。京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)環境デザイン学科(建築専攻)卒業。



西田 紫乃 氏 一般社団法人INCREW 代表理事

2児の母。2019年、障がいがある次男(当時小1)の子育てを契機に豊岡市出石町に移住。フィールドディレクターの岡田絵美との出会いをきっかけにアウトドアの楽しさを知り活動をともにする。【保持資格】介護職員初任者研修修了・行動援護従業者・甲種防火管理者・山陰海岸国立公園PV・ユニバーサルフィールドツアーインストラクター・ジオカヌーインストラクター・ツリークライマー・ひょうごUT相談コンシェルジュ1期



池本 博則 氏 株式会社ユニークピース代表取締役社長

2003年株式会社毎日コミュニケーションズ(現株式会社マイナビ)入社。就職情報事業本部で国内外大手企業の採用活動の支援を担当。2016年同社の執行役員に就任し、事業部長として地域活性化事業部を立ち上げる。国内初の農業情報総合サイト「マイナビ農業」や農業マッチングアプリ「農mers」などのユニークなプロダクトを創り出し、地域活性・農業振興に努めた。その後2023年6月に株式会社ユニークピースを創業。社会課題に向き合いユニークな事業開発をおこなう取り組みに多岐にわたり取り組み、数多くの農林水産省事業、国土交通省事業、経済産業省事業などに関わる取り組みを行っている。



秋山 一平 氏 株式会社アンズケア 代表取締役

株式会社アンドモビリティ代表取締役 / 一般社団法人新しいひろば代表理事

理学療法士として公立八鹿病院(養父市)の勤務を経て、2019年11月に株式会社アンズケアを設立し代表取締役就任。2020年3月豊岡市日高町にリハビリ特化型デイサービス「and Reha.(アンドリハ)」をオープン。2021年3月にはモビリティ部門として介護タクシー「アンドタクシー」の運行を開始。同年9月からの豊岡市との連携によるデイサービス車両効率活用による高齢者外出支援「ちょいのり」(令和5.6年度国交省共創モデル実証プロジェクト採択事業)の実証実験を経て、2023年1月に地域の移動課題に向き合う会社として株式会社アンドモビリティを設立するなど、「ケア・リハビリテーションが溶け込んだまちづくり」を目指して活動。